

令和3年度千葉県後期高齢者医療広域連合一般会計・特別会計

歳入歳出決算の概要

千葉県後期高齢者医療広域連合

目次

1 令和3（2021）年度 被保険者数	
被保険者数	4
2 令和3（2021）年度 決算概要	
一般会計の決算規模	6
一般会計の決算収支	7
一般会計の歳入歳出決算 構成割合	8
一般会計の歳入歳出決算 対前年度比較	9
特別会計の決算規模	10
特別会計の決算収支	11
特別会計の歳入歳出決算 構成割合	12
特別会計の歳入歳出決算 対前年度比較	13
3 令和3（2021）年度 主要事業	
主な事業と取り組み	15
(1) 広報広聴費	16
(2) 電算事務費	17
(3) 資格管理事務費	17
(4) 賦課徴収事務費	19
(5) 給付事務費	19
(6) 医療費適正化事務費	19
(7) 療養給付費	20
(8) 療養費	21
(9) 高額療養費	22
(10) 高額介護合算療養費	23
(11) 葬祭費	23
(12) 健康診査費	24
(13) 長寿・健康増進事業費	25
4 基金運用状況	
.....	28

端数処理については、原則として表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

1 令和3（2021）年度 被保険者数

2 令和3（2021）年度 決算概要

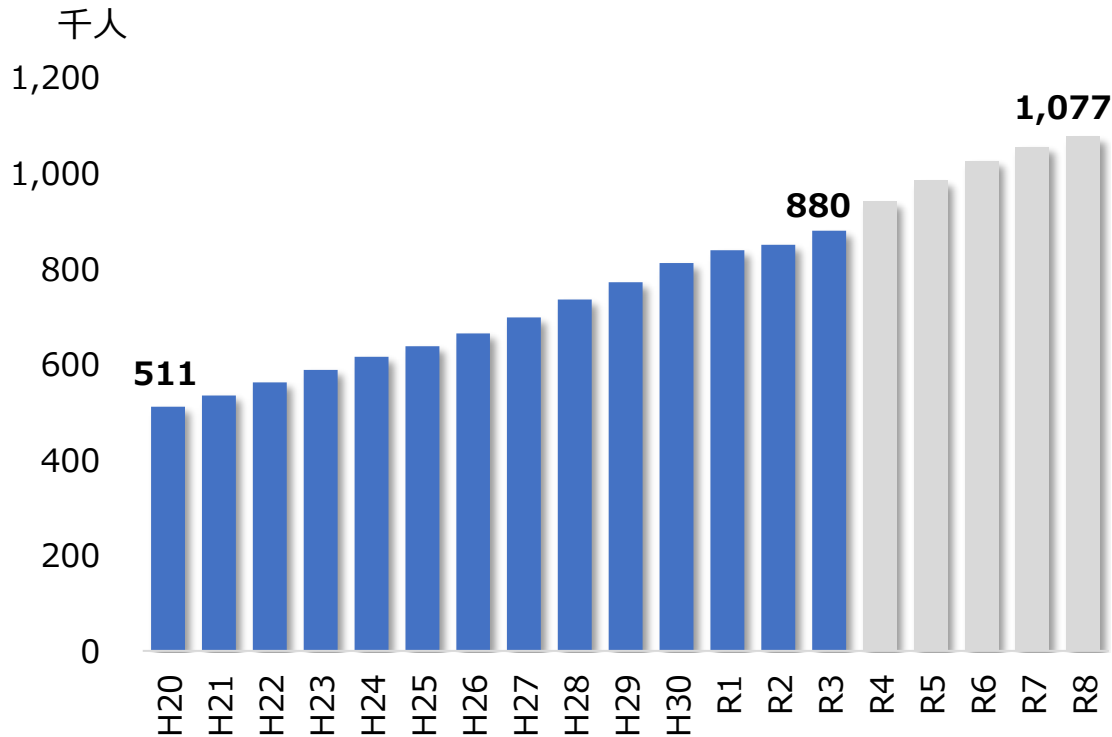
3 令和3（2021）年度 主要事業

4 基金運用状況

被保険者数

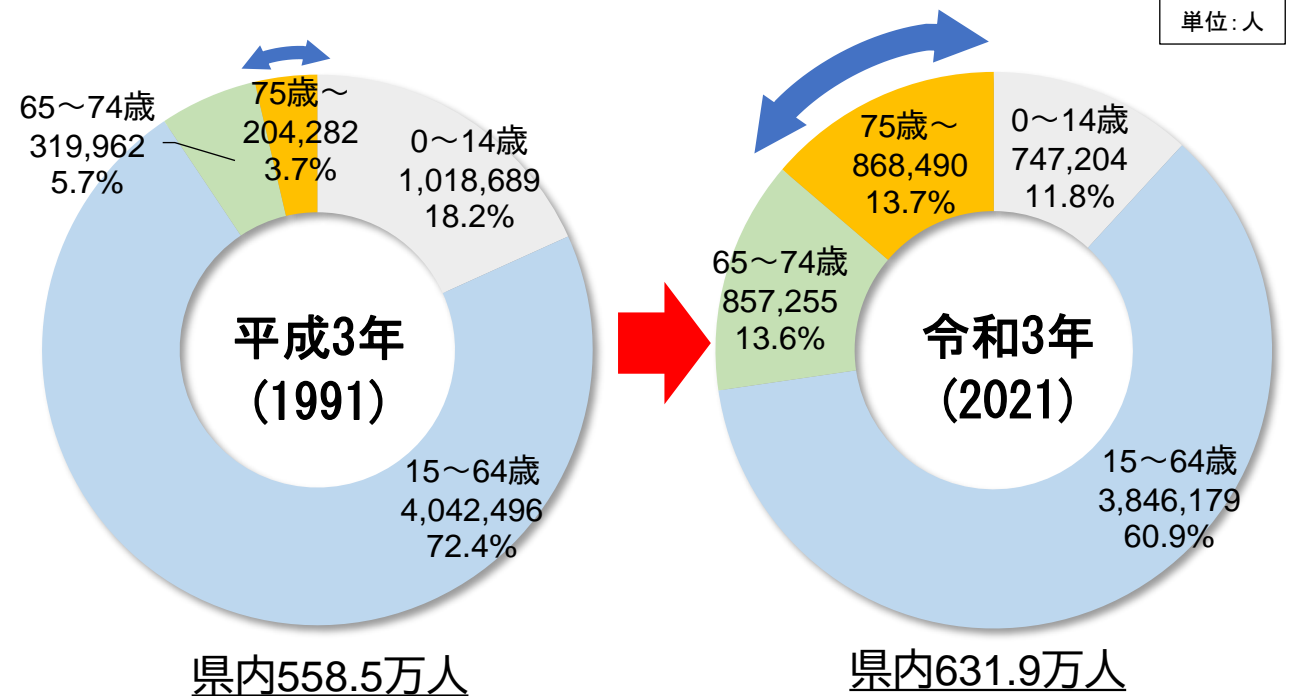
- ◆令和3(2021)年度末の被保険者数は88万人で、前年度に比べ3万人増加(+3.6%)
- ◆千葉県人口の75歳以上が占める割合は13.7%で、少子高齢化により30年前と比べ10ポイント上昇し、年齢区分別の人口構成が大きく変化

■各年度末の被保険者数



令和3年度までは実績値、令和4年度以降は推計値

■千葉県人口(4月1日時点)年齢区分別の構成割合



単位:人

千葉県年齢別・町丁字別人口第2表年齢(5歳階級、各歳)別、男女別人口-県・市区町村・11地域を元に作成(各年4月1日時点)

1 令和3（2021）年度 被保険者数

2 令和3（2021）年度 決算概要

3 令和3（2021）年度 主要事業

4 基金運用状況

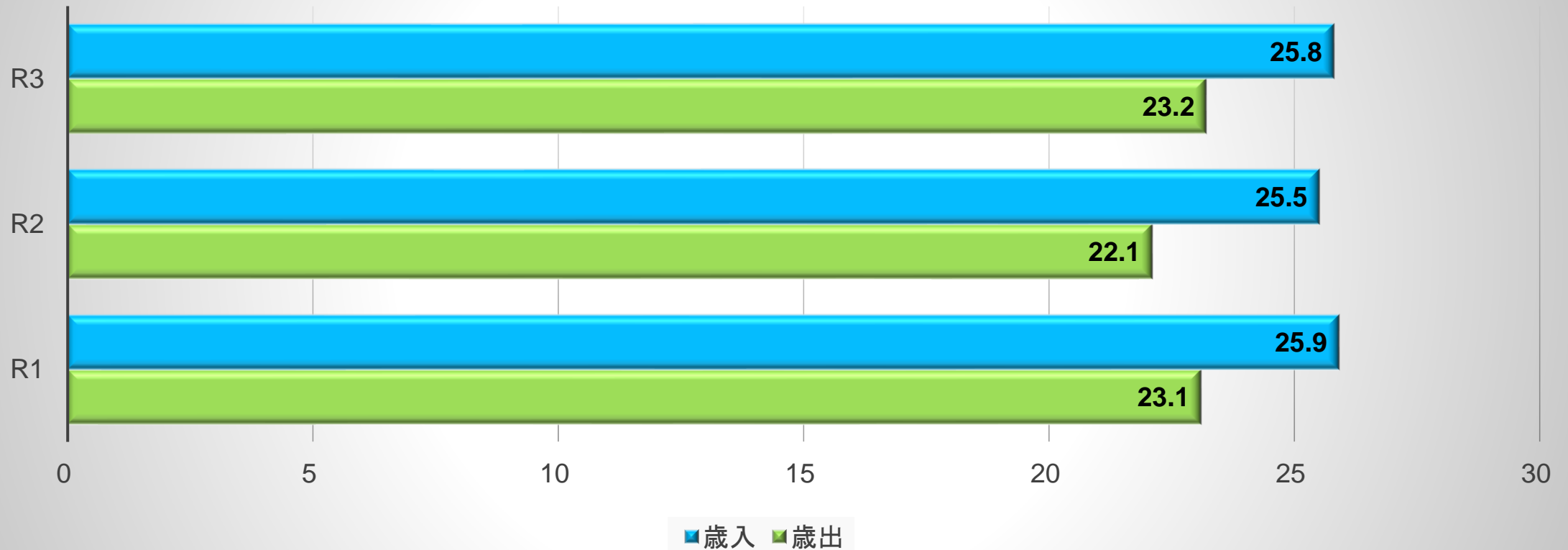
一般会計の決算規模

【歳入】 25億8,429万3,872円 (対前年度比 +3,610万7,308円 +1.4%)

【歳出】 23億2,374万2,538円 (対前年度比 +1億1,045万6,825円 +5.0%)

歳入歳出総額の推移 (一般会計)

億円



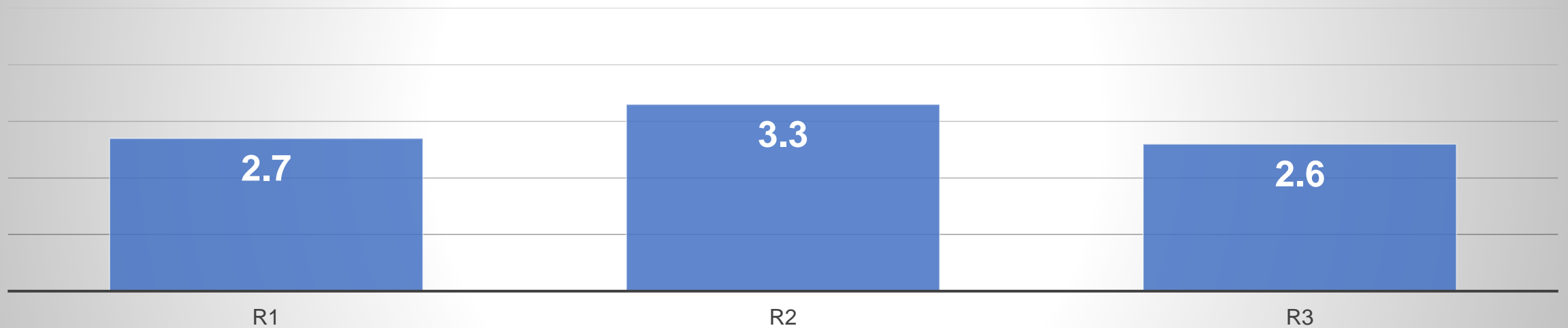
一般会計の決算収支

単位：千円

		令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)
歳入総額	①	2,588,497	2,548,187	2,584,294
歳出総額	②	2,314,131	2,213,286	2,323,743
形式収支	①－②＝③	274,366	334,901	260,551
翌年度へ繰り越すべき財源	④	0	0	0
実質収支	③－④＝⑤	274,366	334,901	260,551

実質収支の推移（一般会計）

億円

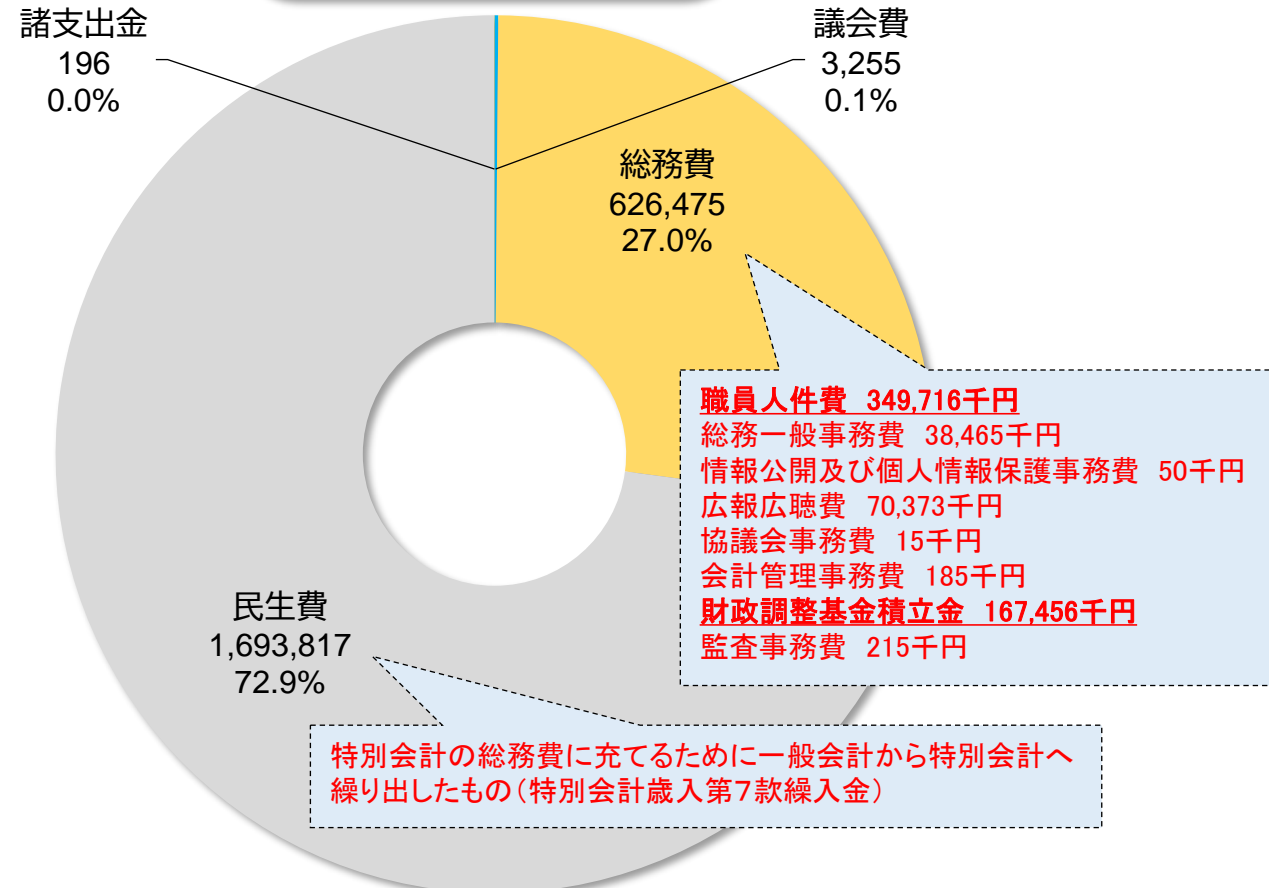
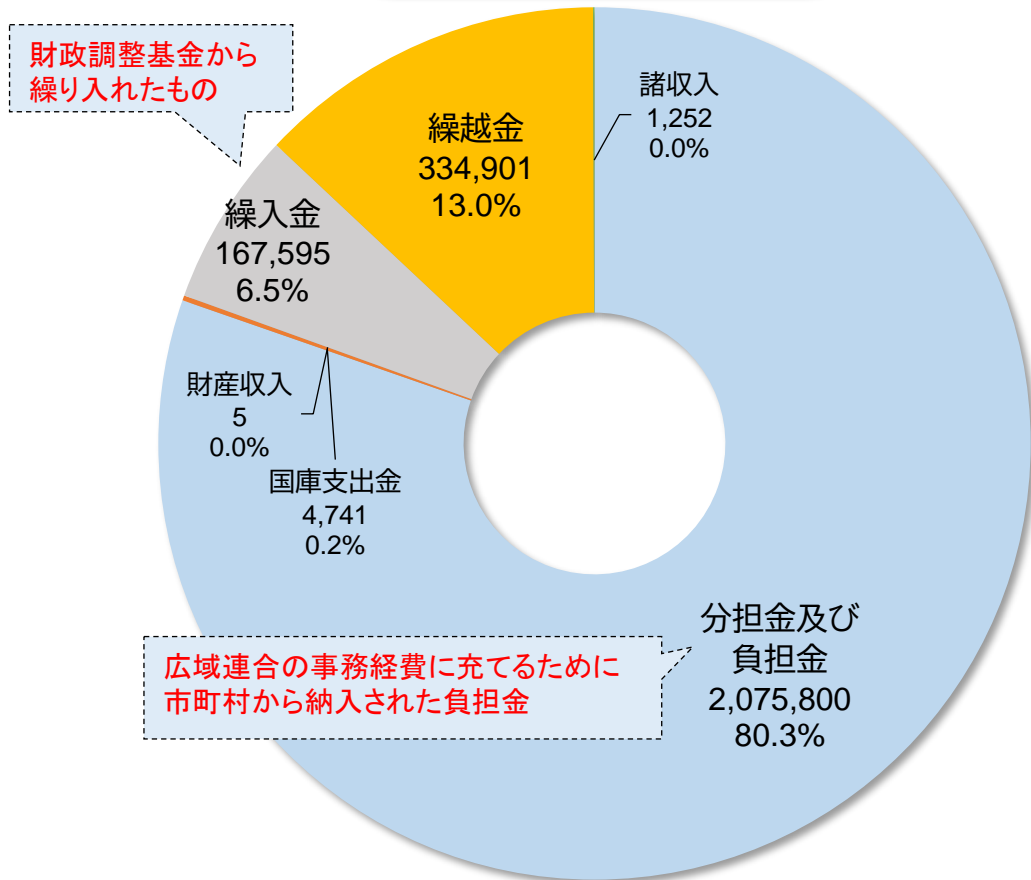


一般会計の歳入歳出決算 構成割合

単位：千円

歳入 25.8億円

歳出 23.2億円



一般会計歳入は、繰入金及び繰越金が前年度に比べ増加したため、3,610万7,308円(1.4%)の増加となりました。

一般会計歳出は、総務費及び民生費(特別会計繰出金)が前年度に比べ増加したため、1億1,045万6,825円(5.0%)の増加となりました。

一般会計の歳入歳出決算 対前年度比較

(単位：千円・税込み)	R2決算額	R3決算額	増減額	増減率	
1 歳入総額	2,548,187	2,584,294	+36,107	+1.4%	
(1) 分担金及び負担金	2,133,131	2,075,800	▲57,331	▲2.7%	前年度繰越金、財政調整基金からの繰入により市町村負担金を減額
(2) 国庫支出金	1,816	4,741	+2,925	+161.1%	
(3) 財産収入	31	5	▲26	▲83.9%	被保険者数の増加に伴う広報広聴費に充てる特別調整交付金の増加
(4) 繰入金	138,001	167,595	+29,594	+21.4%	
(5) 繰越金	274,366	334,901	+60,535	+22.1%	R2剰余金がR1剰余金に比べ増加したことによる翌年度繰越金の増
(6) 諸収入	842	1,252	+410	+48.7%	
①預金利子	11	12	+1	+9.1%	
②雑入	831	1,240	+409	+49.2%	職員宿舎の入居者の増に伴う使用料の増
2 歳出総額	2,213,286	2,323,743	+110,457	+5.0%	
(1) 議会費	2,715	3,255	+540	+19.9%	
(2) 総務費	574,713	626,475	+51,762	+9.0%	
①総務管理費	574,480	626,260	+51,780	+9.0%	
ア 一般管理費	436,259	458,619	+22,360	+5.1%	職員数が増加したことによる職員人件費の増
イ 会計管理費	190	185	▲5	▲2.6%	
ウ 財政調整基金費	138,031	167,456	+29,425	+21.3%	R2剰余金がR1剰余金に比べ増加したことによる基金積立金の増
②選挙費	43	0	▲43	▲100.0%	
③監査委員費	190	215	+25	+13.2%	
(3) 民生費	1,635,857	1,693,817	+57,960	+3.5%	特別会計総務費の増(被保険者証経費等の増)による繰出金の増
(4) 諸支出金	1	196	+195	+19,500.0%	
(5) 予備費	0	0	0	0.0%	特別調整交付金返還金(保険者協議会参画費用)の増
歳入歳出差引額	334,901	260,551	▲74,350	▲22.2%	
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	0.0%	
実質収支額	334,901	260,551	▲74,350	▲22.2%	

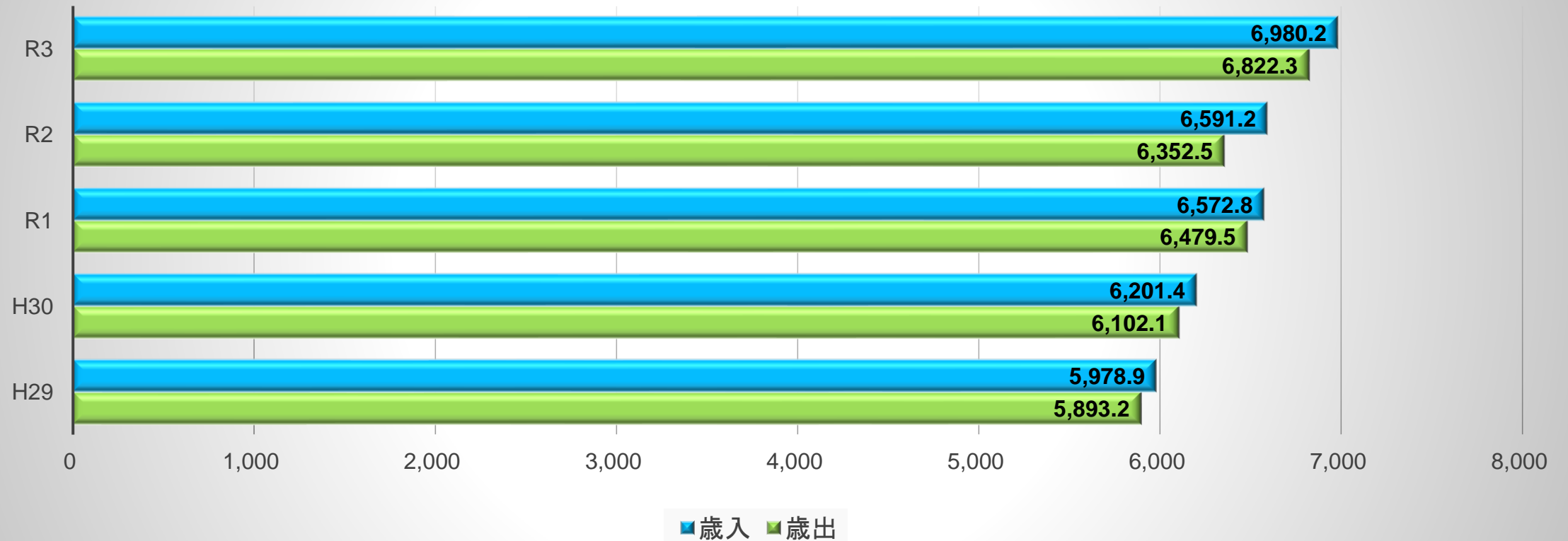
特別会計の決算規模

【歳入】 6,980億2,098万8,892円 (対前年度比 +389億591万2,949円 +5.9%)

【歳出】 6,822億2,575万5,607円 (対前年度比 +469億7,897万8,338円 +7.4%)

歳入歳出総額の推移 (特別会計)

億円



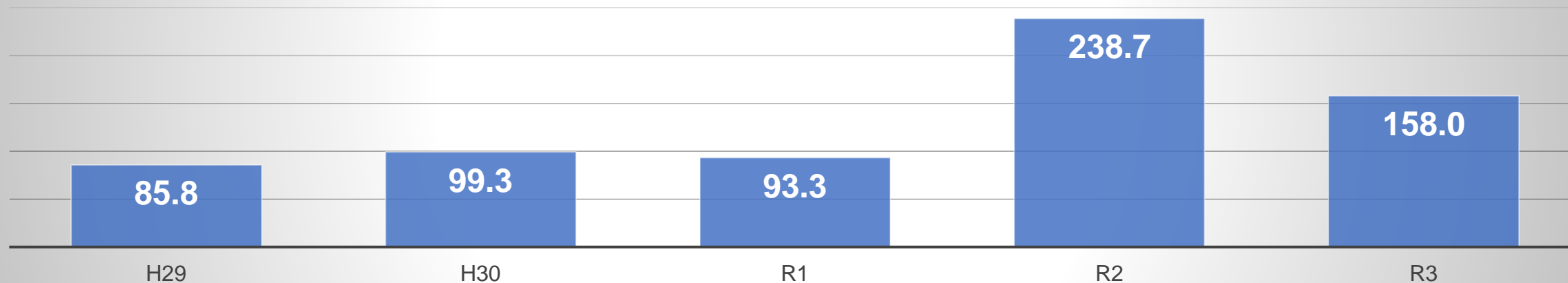
特別会計の決算収支

単位：千円

		平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)
歳入総額	①	597,892,990	620,139,702	657,280,873	659,115,076	698,020,989
歳出総額	②	589,316,666	610,213,822	647,954,708	635,246,777	682,225,756
形式収支	①－②＝③	8,576,324	9,925,880	9,326,165	23,868,299	15,795,233
翌年度へ繰り越すべき財源	④	0	0	0	0	0
実質収支	③－④＝⑤	8,576,324	9,925,880	9,326,165	23,868,299	15,795,233

実質収支の推移（特別会計）

億円



特別会計の歳入歳出決算 構成割合

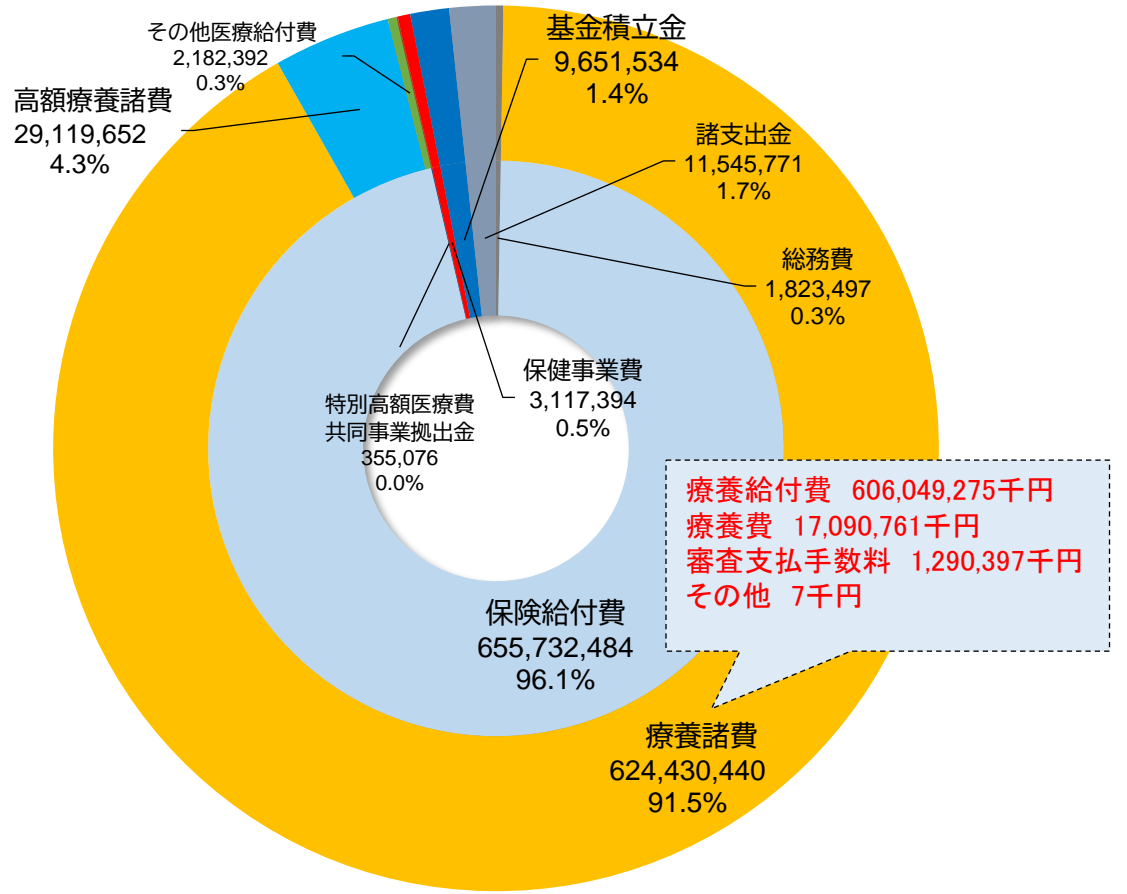
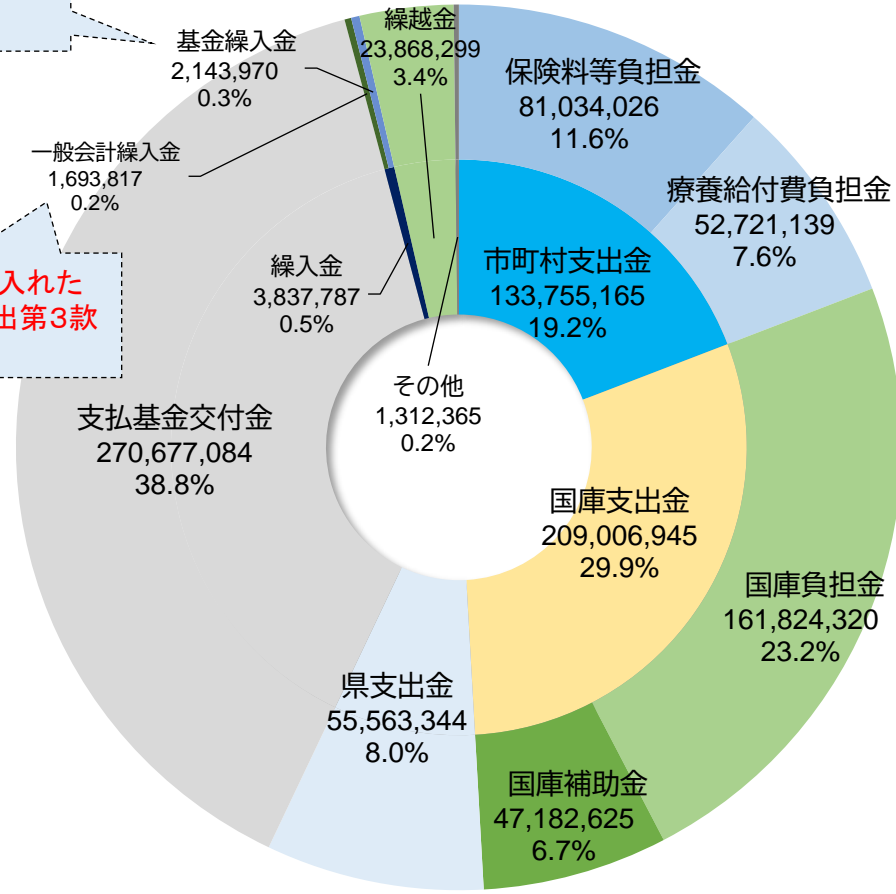
単位：千円

歳入 6,980.2億円

歳出 6,822.3億円

保険料調整基金から繰り入れたもの

一般会計から繰り入れたもの(一般会計歳出第3款 民生費)



療養給付費 606,049,275千円
 療養費 17,090,761千円
 審査支払手数料 1,290,397千円
 その他 7千円

特別会計歳入は、保険給付費等の増加により、前年度に比べ、市町村支出金、国・県支出金等の定率負担金や支払基金交付金が増加したため、389億591万2,949円(5.9%)の増加となりました。

特別会計歳出は、保険給付費の増加や保険料調整基金への積立金の増加により、前年度に比べ、469億7,897万8,338円(7.4%)の増加となりました。

特別会計の歳入歳出決算 対前年度比較

(単位：千円・税込み)	R2決算額	R3決算額	増減額	増減率	
1 歳入総額	659,115,076	698,020,989	+ 38,905,913	+ 5.9%	
(1) 市町村支出金	130,109,744	133,755,165	+ 3,645,421	+ 2.8%	<p>被保険者数の増に伴う保険料収入の増、療養諸費、高額療養諸費の増に伴う定率負担金、支払基金交付金等の増</p> <p>歳出の増加に伴う一般会計繰入、保険料調整基金繰入の増</p> <p>R2剰余金がR1剰余金に比べ増加したことによる翌年度繰越金の増</p> <p>第三者納付金等の減</p>
①保険料等負担金	79,679,934	81,034,026	+ 1,354,092	+ 1.7%	
②療養給付費負担金	50,429,810	52,721,139	+ 2,291,329	+ 4.5%	
(2) 国庫支出金	203,434,575	209,006,945	+ 5,572,370	+ 2.7%	
(3) 県支出金	50,526,325	55,563,344	+ 5,037,019	+ 10.0%	
(4) 支払基金交付金	261,148,835	270,677,084	+ 9,528,249	+ 3.6%	
(5) 特別高額医療費共同事業交付金	305,496	405,609	+ 100,113	+ 32.8%	
(6) 財産収入	425	95	▲ 330	▲ 77.6%	
(7) 繰入金	3,256,933	3,837,787	+ 580,854	+ 17.8%	
(8) 繰越金	9,326,165	23,868,299	+ 14,542,134	+ 155.9%	
(9) 諸収入	1,006,578	906,661	▲ 99,917	▲ 9.9%	
2 歳出総額	635,246,777	682,225,756	+ 46,978,979	+ 7.4%	
(1) 総務費	1,662,590	1,823,497	+ 160,907	+ 9.7%	<p>被保険者証経費等の増、不当利得管理システム改修による増</p> <p>被保険者数の増に伴う医療給付費や審査支払手数料等の増</p> <p>被保険者数の増に伴う健康診査、一体的実施事業の実施団体の増</p> <p>R2剰余金がR1剰余金に比べ増加したことによる基金積立金の増</p> <p>R2の国・市町村定率負担金等の精算に伴う返還金の増</p>
(2) 保険給付費	620,421,640	655,732,484	+ 35,310,844	+ 5.7%	
①療養諸費	591,078,441	624,430,440	+ 33,351,999	+ 5.6%	
ア 療養給付費	573,953,785	606,049,275	+ 32,095,490	+ 5.6%	
イ 療養費	15,898,552	17,090,761	+ 1,192,209	+ 7.5%	
ウ その他	1,226,104	1,290,404	+ 64,300	+ 5.2%	
②高額療養諸費	27,276,770	29,119,652	+ 1,842,882	+ 6.8%	
ア 高額療養費	26,559,513	28,419,996	+ 1,860,483	+ 7.0%	
イ 高額介護合算療養費	717,257	699,656	▲ 17,601	▲ 2.5%	
③その他医療給付費	2,066,429	2,182,392	+ 115,963	+ 5.6%	
(3) 特別高額医療費共同事業拠出金	285,578	355,076	+ 69,498	+ 24.3%	
(4) 保健事業費	2,882,161	3,117,394	+ 235,233	+ 8.2%	
(5) 基金積立金	740,912	9,651,534	+ 8,910,622	+ 1,202.7%	
(6) 公債費	0	0	0	0.0%	
(7) 諸支出金	9,253,896	11,545,771	+ 2,291,875	+ 24.8%	
(8) 予備費	0	0	0	0.0%	
歳入歳出差引額	23,868,299	15,795,233	▲ 8,073,066	▲ 33.8%	
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	0.0%	
実質収支額	23,868,299	15,795,233	▲ 8,073,066	▲ 33.8%	

1 令和3（2021）年度 被保険者数

2 令和3（2021）年度 決算概要

3 令和3（2021）年度 主要事業

4 基金運用状況

主な事業と取り組み

	事業名	主な内容
1	広報広聴費（一般会計）※	広報紙等の制作及び発送、懇談会の開催など
2	電算事務費	電算処理システム（標準システム）の維持管理・運用
3	資格管理事務費	被保険者証の作成及び発送など
4	賦課徴収事務費	保険料額決定通知書の作成及び発送など
5	給付事務費	支給関連通知書の作成及び発送、レセプト点検など
6	医療費適正化事務費	医療費通知作成、資格点検業務など
7	療養給付費	医療費総額のうち患者負担を除く療養の給付に要する経費
8	療養費	はりきゅう・あんま・マッサージ等の費用、訪問看護療養費など
9	高額療養費	医療費の自己負担限度額を超えた部分を被保険者へ支給
10	高額介護合算療養費	医療と介護の一部負担金自己負担限度額を超えた部分について被保険者へ支給
11	葬祭費	被保険者が死亡したときに葬祭費を支給
12	健康診査費	被保険者に対する健康診査・歯科健康診査
13	長寿・健康増進事業費	保健事業と介護予防の一体的実施、長寿・健康増進事業、低栄養防止・重症化予防等事業

※広報広聴費を除く事業は全て特別会計で執行

広報広聴費

1 広報紙・パンフレット等の制作及び発送等（7,017万円）

- 広報紙「ちば広域連合だより」（年2回発行）（5,507万円）
毎年度12月と3月に発行。12月発行分は医療機関・薬局、高齢者施設等の関係機関へ、3月発行分は関係機関・施設のほか、被保険者の全世帯に向けて送付しています。
- パンフレット等の発刊
 - ・ 制度解説ガイドブック（136万円）
 - ・ 制度解説小冊子（被保険者証に同封）（1,092万円）
 - ・ 被保険者証更新ポスター（148万円）
- ホームページの運営など（134万円）

2 懇談会の開催（20万円）

- 広域連合では、後期高齢者医療制度の幅広い意見を聞くため、被保険者の代表、医療関係者の代表、有識者等との懇談会を開催しています。（懇談会委員12名）

開催実績

- 令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催とし、第四次広域計画（原案）等について意見を伺いました。

お問い合せ先	お問い合わせ先
千葉県後期高齢者医療広域連合コールセンター	☎0570-080280
または、お住まいの市（区）町村後期高齢者医療担当課へ	

電算事務費

電算処理システムの維持管理・運用（7億393万円）

- 後期高齢者医療制度の業務を行うために利用する「電算処理システム（標準システム）」の維持管理や運用を行っています。

資格管理事務費

1 被保険者証等の作成及び郵送（3億2,773万円）

- 被保険者証（郵送数）855,650通
- 基準収入額適用申請書（郵送数）6,825通



資格管理事務費

2 コールセンターの設置 (221万円)

- コールセンターの設置 (令和4年3月1日～3月31日)

〔主な問い合わせ対応〕 ・窓口2割負担導入に係る制度全般に関する問い合わせ対応
・マイナンバーカード交付申請書送付に関する問い合わせ対応など

〔実績〕 問い合わせ件数 739件

3 制度改正周知事業補助金 (16万円)

- 市町村が行う窓口2割負担導入に係る広報事業に対する補助

4 マイナンバーカード交付申請書作成等 (5,846万円)

- 国からの協力要請に基づき、マイナンバーカードの取得促進を図るため、75歳以上の被保険者（令和3年10月1日時点のカード未取得者に限る。）へ交付申請書を送付しました。

〔発送時期〕

令和4年3月中旬以降順次発送

〔75歳以上のマイナンバーカード交付状況（千葉県）〕

令和4年3月1日時点 47.6%
→令和4年7月31日時点 53.8%



【表面】



【裏面】

賦課徴収事務費

1 被扶養者情報の取得（175万円）

- 社会保険診療報酬支払基金から被用者保険の被扶養者（保険料軽減対象者）の情報を取得することに対する係る手数料
3,652件

2 賦課徴収帳票作成等（1億1,971万円）

- 県内54市町村に対し、保険料額決定通知書や納付書等の作成、送付に係る業務を委託

給付事務費・医療費適正化事務費

1 給付事務費（2億7,670万円）

- 療養給付費や療養費の支給に要する通知書等の作成、郵送料など

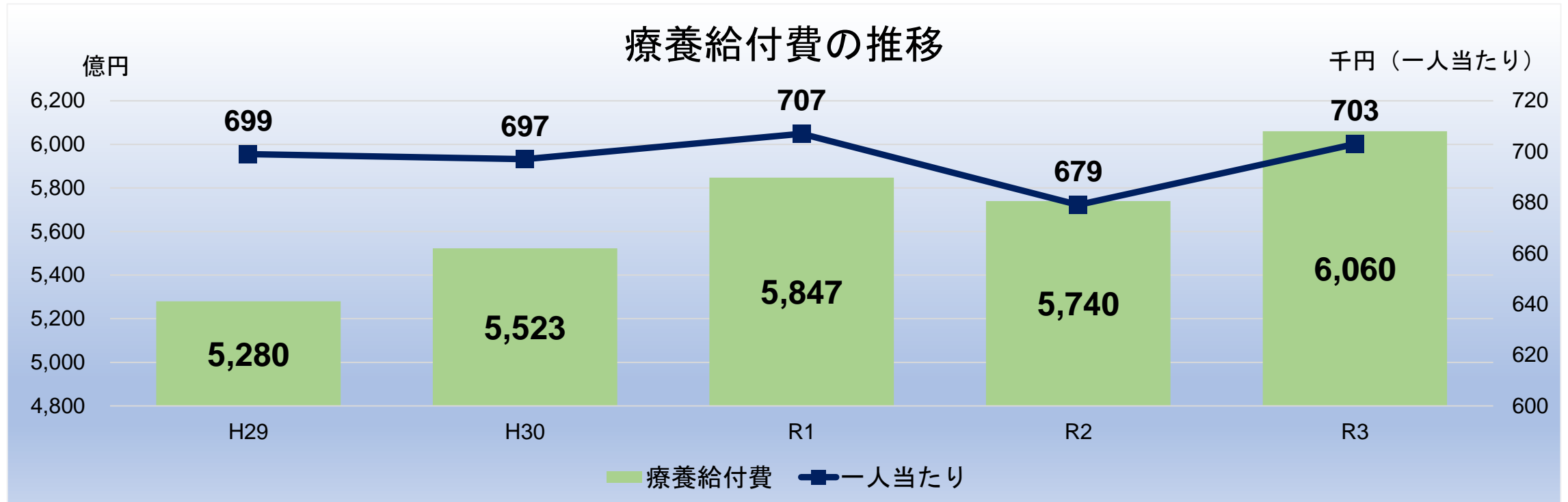
2 医療費適正化事務費（4億188万円）

- 被保険者への医療費通知作成、レセプト二次点検、不当利得管理システムの改修など

療養給付費

療養の給付に要する経費（6,060億4,928万円）

●医療費総額のうち被保険者の窓口負担を除く費用について負担するもの



令和3年度の療養給付費は、令和2年度と比べると、前年度の新型コロナウイルスの感染拡大に伴う受診控えなどの影響等による減少の反動もあり、増加に転じています。

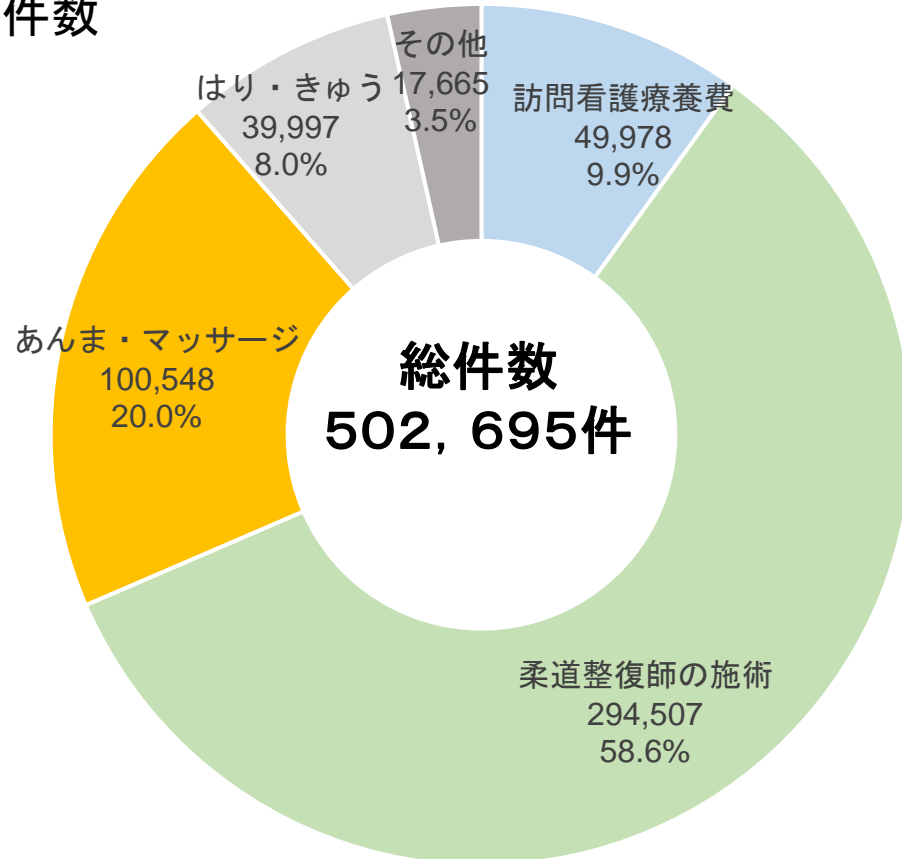
療養給付費の伸び率は、長期の傾向として高齢化や医療の高度化により年率概ね5%程度伸びてきましたが、令和3年度とコロナ禍前の令和元年度を比較すると3%程度の伸び率に鈍化しており、コロナ禍前の伸び率にまでは戻っているとはいえ依然として新型コロナウイルス感染症による影響が続いているものと考えられます。

療養費

療養費の支給に要する経費（170億9,076万円）

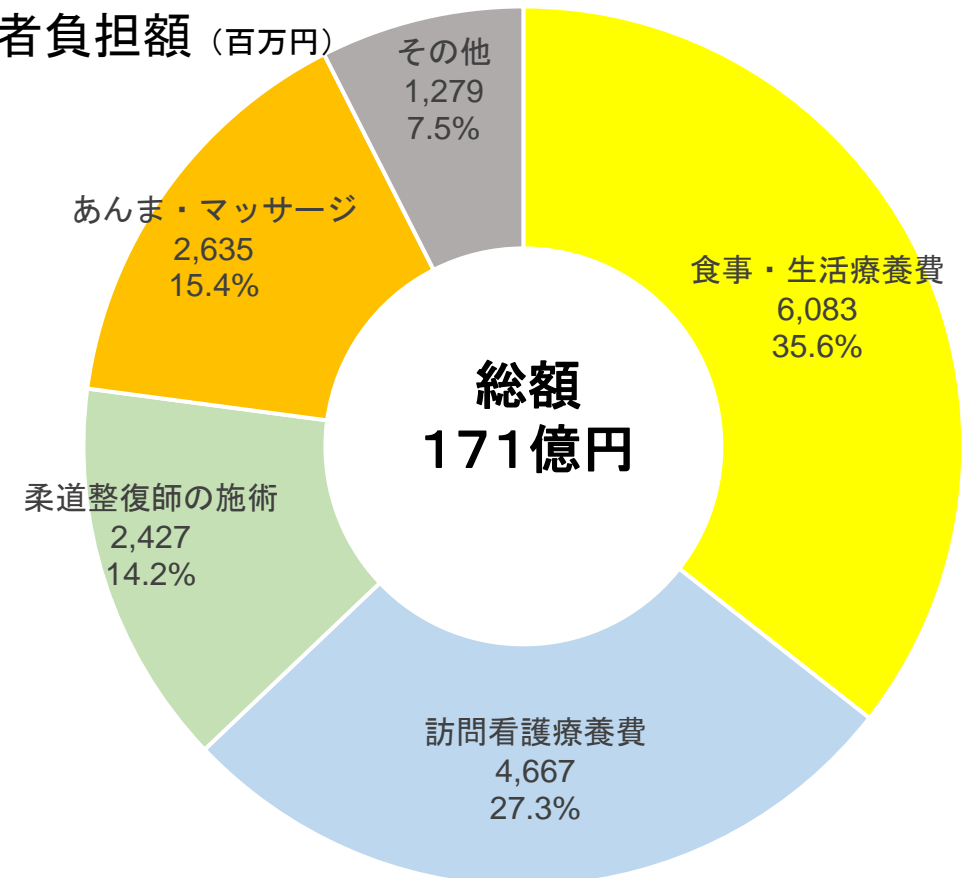
- 入院時食事療養費、入院時生活療養費、保険外併用療養費、柔道整復、はりきゅう、あんま、マッサージ等の施術、治療用補装具、訪問看護療養費の費用のうち自己負担を除いた費用を負担

件数



食事・生活療養費(474,427回)は回数のため件数には含めていません。

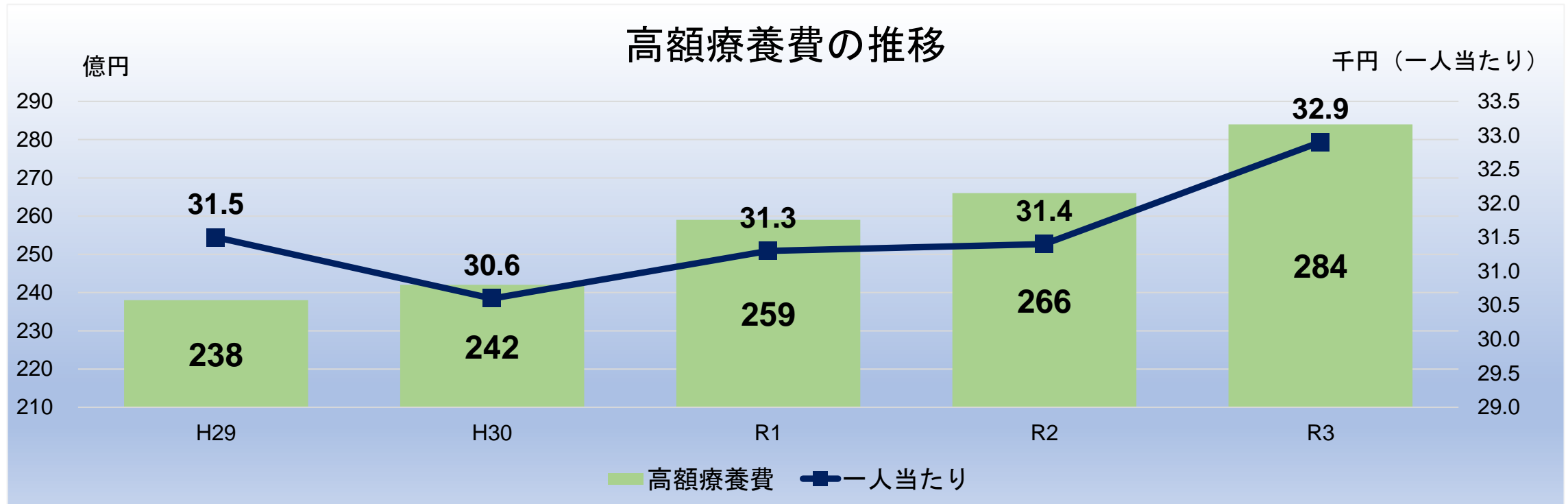
保険者負担額（百万円）



高額療養費

高額療養費（284億2,000万円）

- 保険医療機関に1か月に支払った医療費の自己負担額の合計が限度額を超えたとき、超えた部分について、医療機関へ現物給付を行う他、被保険者へ現金支給



高額療養費は、療養給付費と異なりコロナ禍にあっても伸び続けていることから、新型コロナウイルス感染症の影響をあまり受けていないものと考えられます。

高額介護合算療養費

高額介護合算療養費（6億9,966万円）

- 1年間（8月～翌年7月）に支払った医療と介護サービスの自己負担額の合計額が限度額を超えた部分について支給

葬祭費

葬祭費（21億7,795万円）

- 被保険者が死亡したとき、その葬祭を行った者に対し、葬祭費（5万円）を支給

健康診査費

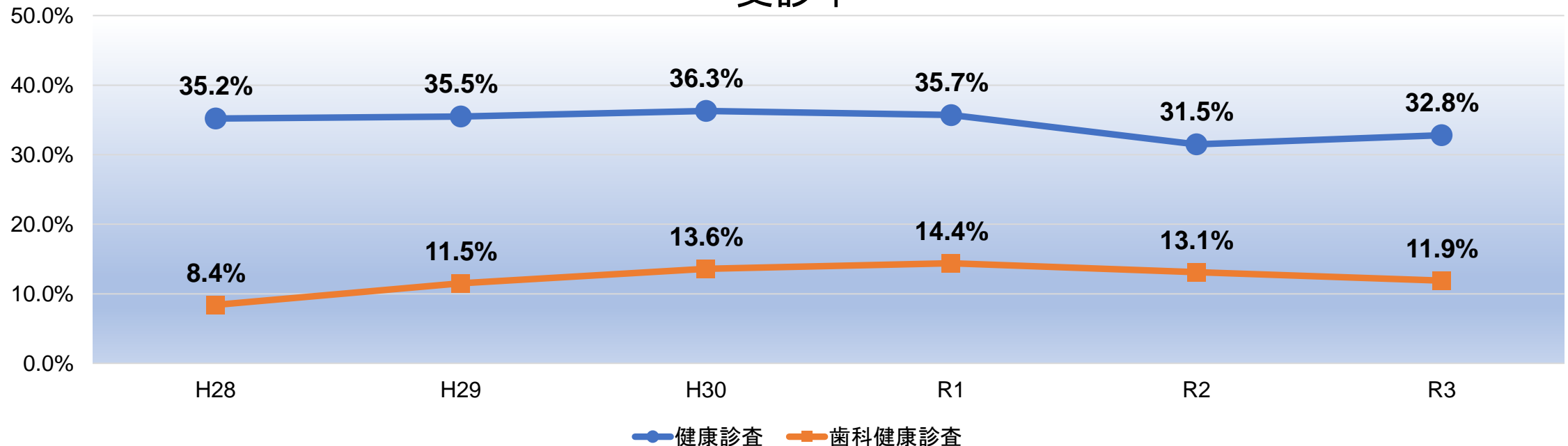
健康診査（27億6,689万円）

●被保険者の健康の保持増進に資するための健康診査について、市町村に事業を委託・実施（受診者数266,732人 受診率32.8%）

歯科健康診査（4,396万円）

●前年度75歳に到達した被保険者を対象に歯科健康診査、口腔衛生指導を実施（受診者数6,540人 受診率11.9%）

受診率



長寿・健康増進事業費

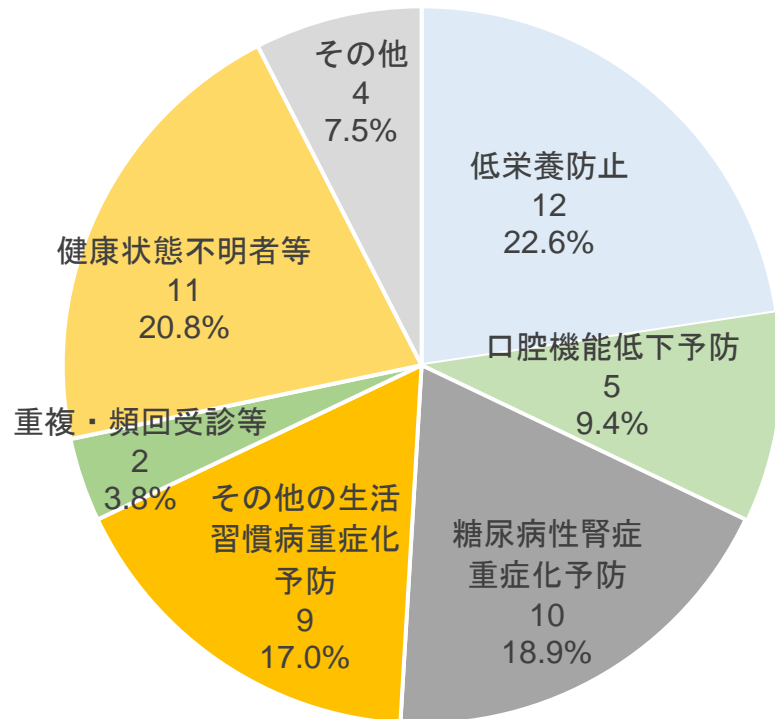
高齢者の保健事業・介護予防一体的実施（2億1,076万円）

- 健康寿命の延伸を目指して、医療専門職による相談・指導や健康教育等を国民健康保険の保健事業と介護の地域支援事業と一体的に実施する事業

〔高齢者に対する支援内容（実施団体数）〕

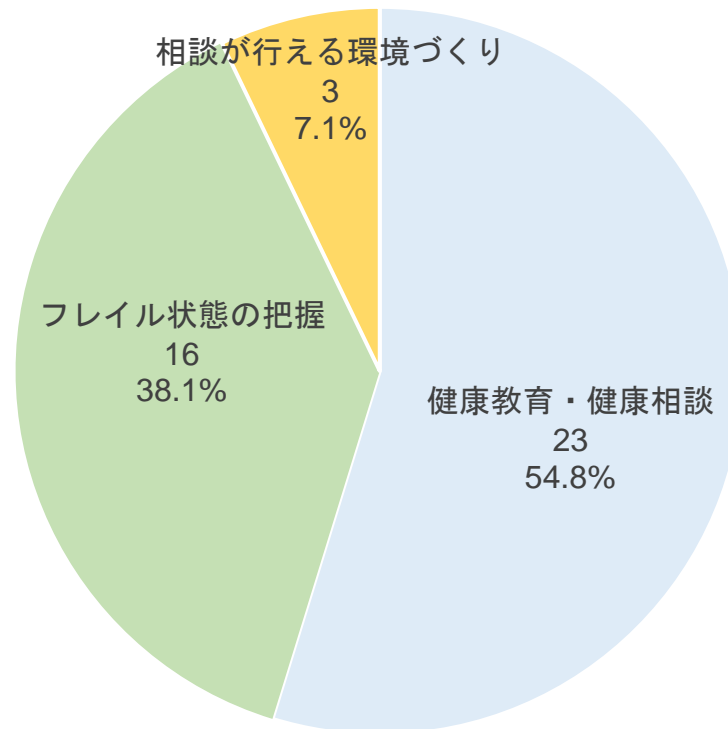
ハイリスクアプローチ

＜高齢者に対する個別的支援＞

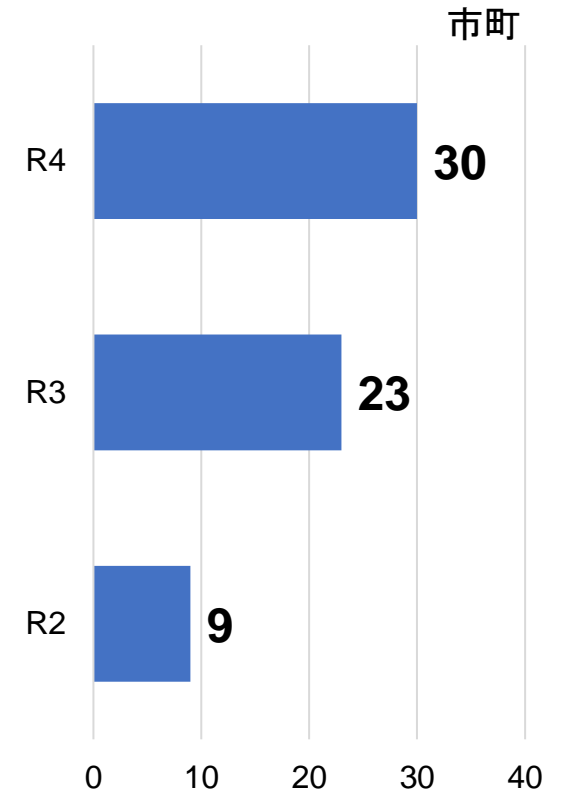


ポピュレーションアプローチ

＜通いの場等への積極的な関与等＞



〔取組開始団体数〕

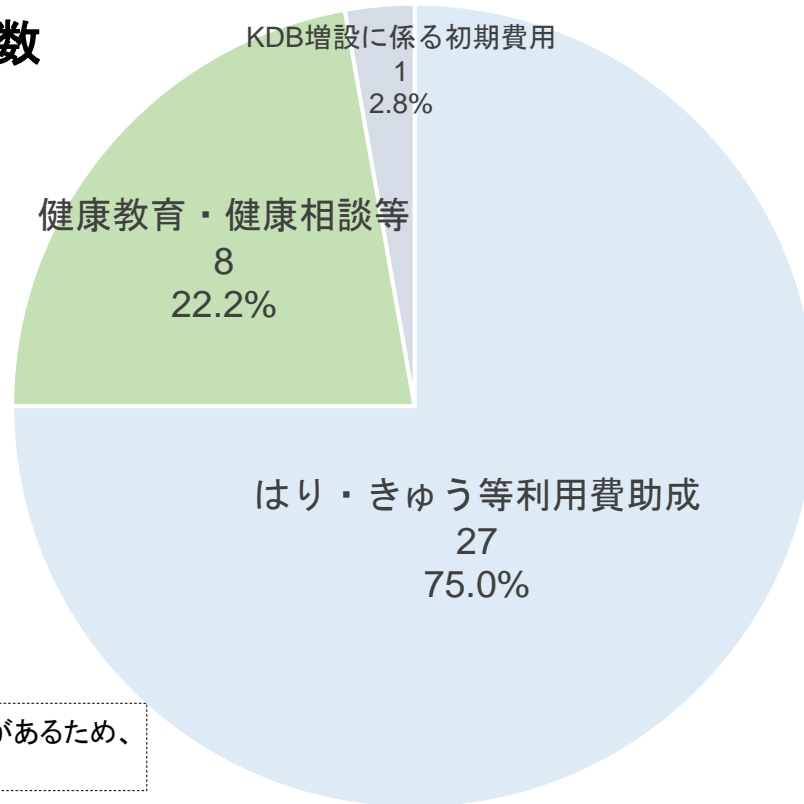


長寿・健康増進事業費

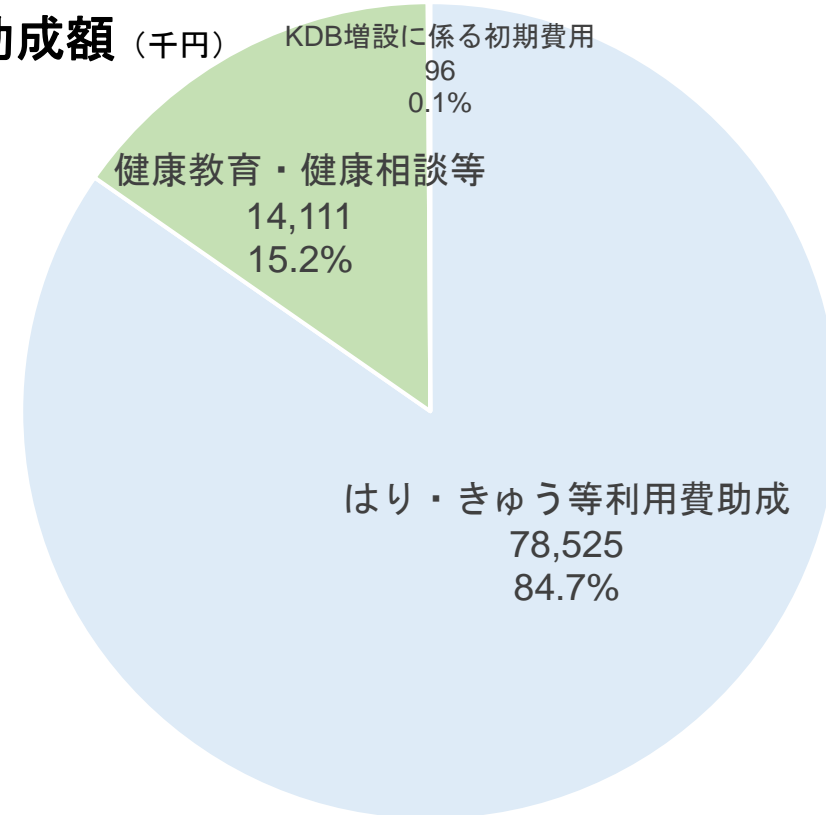
長寿・健康増進事業（9,273万円）

●高齢者の健康づくりのために、市町村が取り組む事業の実施に対し助成を行いました。

団体数



助成額（千円）



複数の事業を行う団体があるため、合計は一致しない。

高齢者の低栄養防止・重症化予防等事業（44万円）

●服薬に関する相談・指導

1 令和3（2021）年度 被保険者数

2 令和3（2021）年度 決算概要

3 令和3（2021）年度 主要事業

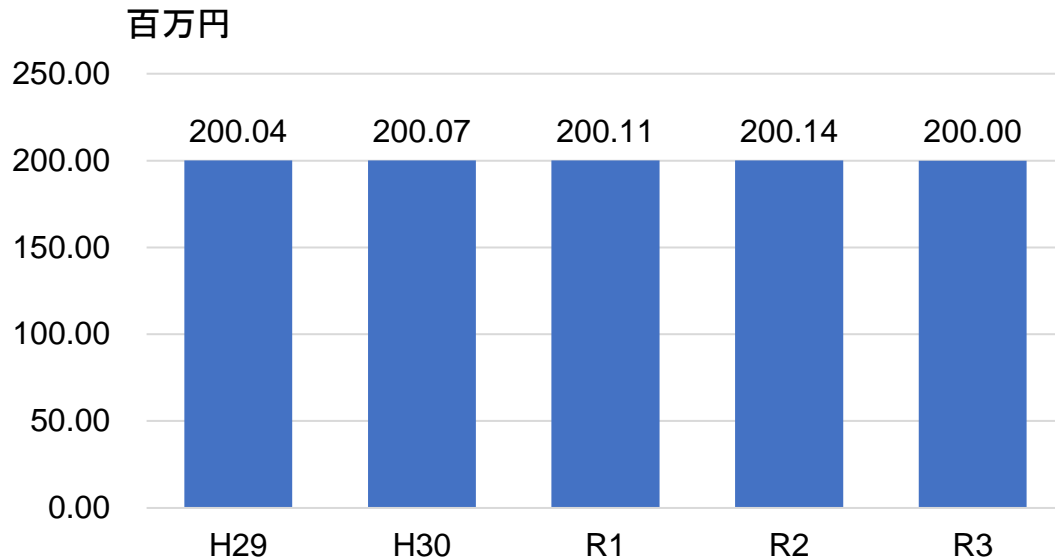
4 基金運用状況

基金運用状況

- ◆ 財政調整基金・・・一般会計決算で生じた剰余金の2分の1以上の額を積み立て、年度末で2億円程度を保有（2億円を超えた額は一般会計へ繰り入れ、市町村負担金を減額）
- ◆ 後期高齢者医療保険料調整基金・・・特別会計決算で生じた剰余金を、将来の保険料率の上昇抑制に備えて基金に積み立て、保険料の軽減財源に充てています。

広域連合が設置している基金と各年度末の残高

財政調整基金



後期高齢者医療保険料調整基金

